

Project7 ゆりはまものづくりプロジェクト

(1) 新商品開発事業

- 【手法・内容】 「天女」をストーリー化しながらものづくりを展開
- ① 地元の農産物、素材を活かした新商品開発
 - ② 女性をターゲットにした新商品開発
 - ③ 来訪者が製作を体験できる商品の開発

(単位：千円)

年度	所管課	実施状況	決算額	備考
24	産業振興課	◇「湯梨浜の四季」のパッケージデザインを若い世代の女性向けに改良。価格別セットや取扱販売店について検討した。販路開拓のため、鳥取県生協と交渉したいが製造量、必要経費等がネックで断念。 ◇①町オリジナル加工品づくり支援事業、②町加工品ステップアップ支援事業、③町地域資源活用型コミュニティビジネス支援事業の補助制度を創設。(例) 樋口農園のメロンゼリー開発	644	地産地消推進事業
25	産業振興課	◇町支援制度を活用した地元農林水産物を使用した特産品開発。(女性をターゲットに体の中からキレイなるコンセプトの梅酢を商品化) ◇湯梨浜町四季の会で摘みたての美味しさを再現した贅沢なおやつとして地元農産物を活かした「ゼリー」の商品化を計画。多様なバリエーションが期待できるため、関係者に事前研修会を実施し、商品化に向けて取り組んだ。	94	地産地消推進事業
26	産業振興課	◇湯梨浜町オリジナル加工品づくり支援事業を活用し、商品開発・販路拡大を計画している事業者を支援。また、はまなす加工研究グループにおいて、ゼリーの試作に取り組んだ。	50	地産地消推進事業
27	産業振興課	◇はまなす加工研究グループの「トマトゼリー」「梅ゼリー」をパッケージングした湯梨浜の四季ギフトセットを販売した。	-	
28	産業振興課	◇湯梨浜町オリジナル加工品づくり支援事業を活用し、町内産農林水産物を使用した商品開発、販路拡大を推進する。 ◇湯梨浜町四季の会を脱退するグループ、活動縮小について検討を始めるグループが出てきたため、新商品の開発や新たなグループの参加など、今後の活動について検討する。	48	地産地消推進事業

【成果】

地元の特産品を活かした加工品を開発し、商品化した。

【課題】

加工商品の生産を取りやめるグループや、メンバーの高齢化により活動縮小を検討するグループが出てきており、町内の加工グループの活動が全体的に縮小傾向にある。

(2) 新商品魅力アップ事業

【手法・内容】 来訪者に選ばれる（喜ばれる）土産品の開発を促進

- ① おまけやくじ付き商品の実施
- ② 町内産の材料などを入れ物に活用

(単位：千円)

年度	所管課	実施状況	決算額	備考
24				
25				
26				
27				
28				

【成果】

【課題】

(3) 地域資源ブランド化事業

【手法・内容】 他地域との差別化を図るため、地域資源のブランド化を推進
(東郷湖シジミやフナなどの水産資源、梨などの農産物 等)

(単位：千円)

年度	所管課	実施状況	決算額	備考
24	産業振興課 (商工)	◇野花地区で栽培される大梅「野花豊後」に着目し、「げんき梅」ブランドとして、梅酢や梅甘酢漬を商品化	-	
26	産業振興課 (商工)	◇引き続き「げんき梅」ブランドの商品づくりを推進。ゼリーやアイス、甘酒、ケーキなどを商品化	-	
27	産業振興課	◇開発した商品を首都圏イベント等でPR	-	
28	産業振興課	◇開発した「げんき梅」ブランド商品および東郷湖産シジミを東京の県アンテナショップのイベントでPR。同商品の販路開拓を行った	98 (666)	()内は町商工会補助金の地域活性化ウォーキング事業のうち

【成果】

町内8事業者が野花豊後を原材料とした「げんき梅」ブランド商品を10種類開発。統一したロゴマークを使用することで、地域資源を生かしたさまざまな商品を新たにブランド化した。

【課題】

商品の製造から販売までを個々の事業者が行っているため、足並みをそろえた販路開拓が困難となっている。

